

北杜市障害福祉計画（第6期計画）・北杜市障害児福祉計画（第2期計画）
第3回策定委員会 会議録

(1) 会議名 「北杜市障害福祉計画（第6期計画）・北杜市障害児福祉計画（第2期計画）」第3回策定委員会

(2) 開催日時 令和2年11月24日（火）10時00分～

(3) 開催場所 北杜市役所本庁 3階大会議室

(4) 出席者（敬称略）

出席委員

秋山謙太、小松二三子、大柴政敏、中沢朝征、津田健夫、飯室正明、
磯野圭一、河野めり子、岡田宗一郎、

欠席委員

興石義彦、小池達也、坂本誠

事務局

伴野福祉部長、山田福祉課長、障害福祉担当三井、篠原
障害者総合支援センター佐野、白倉介護支援課長、中田保健指導監
中澤子育て応援課長、中田ほくとっこ元気課長、天池教育総務担当
SCOP栗田

会議録署名委員

河野めり子、小松二三子

(5) 議題

- ① 事業所アンケートの調査報告
- ② 「北杜市障害(児)福祉計画」の素案について
- ③ パブリックコメントの実施について
- ④ その他

(6) 公開・非公開の別

公開

(7) 傍聴人の数

0名

(8) 内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

① 事業所アンケートの調査報告（事務局より資料1と資料2の37Pの説明）

■ 質疑応答・意見

委員：まず資料1は計画策定のための内部資料用でしょうか。それとも公表する資料でしょうか。また、「この1年の利用者のニーズの増減」は実際に使っている利用者の数を意味していると思いますが、例えば計画相談や居宅介護のニーズ自体はもっとあるが、ただ採用ができておらず人材不足のためにこのような数字になっているということではないかと思います。利用者の増減なのであれば、ニーズという表現を変えた方がいいのではないのでしょうか。

事務局：この資料は策定委員会のみ内部資料となります。ニーズと供給の状況については、まさに飯室委員のおっしゃったとおりのため、修正します。

② 「北杜市障害（児）福祉計画」の素案について（事務局より資料2の説明）

■ 質疑応答・意見

委員：50ページに地域生活支援拠点の話があります。49ページのアンケート調査の結果をみると、まず当事者がほとんど知らないというのが現状です。50ページ下の「取組の方向性」には「周知を強化しながら」と書いてありますが、この文脈は事業所に向けた周知を増やしていくということでしょうか。当事者への周知も足りていないので必要かと思いますが、いかがでしょうか。

事務局：そのとおりです。事業所への周知を強化する中で、方向性として当事者への周知も追加していくこととなります。事業所さんが拠点について知らない利用者さんに説明ができていないというところもあるので、同時に周知を進めていきたいと思っています。

委員：当事者への周知も追加していただけるということで、ありがとうございます。続いて、54ページの児童発達センターなどの設置の目標値についてです。圏域での設置も含め、目標値に1と書いてありますが、難しいと思うのは、基準値（現状）は、圏域ならば1、北杜市ならばないので0となります。一番最後の取組の方向性の記述については、北杜市でも設置するが、できない場合は圏域でも新たに設置するという理解でよいでしょうか。

事務局：基本的には国の指針にもあるように、市町村で設置していく方向で進めたいとは思っていますが、実際はなかなか厳しい状況にあります。その場合には、市町村圏域での設置で差し支えないということなので、自立支援協議会も一緒にしている韮崎市さんと話をしながら進めていけたらということで、こういう表現としています。

委員：韮崎市さんとの協議のなかで新たに児童発達支援センター、重症心身障がい児を受け入れる児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所を設置していく計画となっているという理解でよろしいですね。

委員：大変厚く幅広い内容をわかりやすくまとめていただき、職員皆様のご苦勞に感謝

いたします。66、67 ページの就労継続支援 A 型、B 型の数値はコロナの関係で今後どういう状況になっていくのかを考えると、この数字はあがっていくのが喜ばしいと思います。就労に励んでいる皆様が張り合いを持てる社会になるよう私たちもいろいろな情報を取りながら協力してやっていきたいと思います。

事務局：意見ということですね。ありがとうございました。

委員：意見があります。いま、北杜市内で小中学校の障がいのある子供たちや車椅子の子どもたちへの虐待が起こっているのではないかと思います。この計画にはそういったことは載っていません。教育委員会だけに任せるのではなく、障がい福祉課でも協力して活動していくことが大切ではないでしょうか。そういうことも含めて委員会の中で検討ができればよいと思います。

委員：第 5 章のサービス見込量について、全体的な話になりますが、確保のための方策が「ニーズの状況に応じて、事業所と連携を図りながら、サービスの拡充を行います」と、ほぼ同じ表現で書かれています。事業所とどのような連携をしていくのがよいかは各分野で異なるため、あまりにも同じ表現であることが気になりました。もう少し具体的にしていただけるとよいのではと思います。

その中で、57 ページの訪問系サービス・ホームヘルプの見込量は現状こうなのかと思いますが、さきほどの事業所さんの話では、ニーズはあるが応えられないとありました。方策にあるように、ヘルパーの人材を確保し、サービスを拡充していくということであれば、もうちょっと数字はあがっていてもよいと思いますが、いかがでしょうか。

次に、65 ページの就労移行支援で「ニーズ量が減少しているため」という表現がありますが、これは事業所の利用のニーズという理解で良いでしょうか。就労したいニーズはあるものの、事業所利用のニーズが減少しているということなら、そのような記述を追加してもらいたいと思います。

事務局：まず 57 ページの見込量ですが、ヘルパー人材確保を勘案したうえでの数値としています。

次に、就労に関しては、就労移行支援利用時には、まず「かざぐるま」での面談をしています。正確な数字はとっていませんが、最初に仕事をしたいという相談があったときの傾向として、就労移行のような訓練を通じて就労したいという人は確実に減っています。支援学校卒業のご相談も、B 型からのスタートを望む声が増えています。就労移行支援事業所が休止していて北杜市内で減っているということもありますが、最初からお金が入る就労希望が増えていて、コロナ下で A 型の利用希望と障がい年金の受け取りに関する相談が多くなっています。4 月以降、就労移行利用のご相談は片手で足りるほどという状況です。

委員：ありがとうございます。就労したい人はいるわけですね。でしたら、就労移行支援事業所利用ニーズと書いていただけるといいかと思います。

あわせて、75 ページ、計画相談の見込値はもっと増えてくるのではないのでしょうか。他の事業は県の指定にともなう事業である一方、計画相談は市が指定する事業ですので、確保の方策は、市の事業として強化していくということで、例えば、「かざぐるま」での計画相談を強化していくとするのもありなのではないのでしょうか。

また、計画相談の事業所数が 85 ページに載っていますが、今が 8 事業所で、一つ減って見込量は 7 になっています。現状から事業所を増やさずに、計画相談の数を増やすことになるかと思いますが、これでよいのかどうか確認したいです。

事務局：計画相談件数は着実に増えており、増やしていきたいのですが、市内の事業所数から見ても増やすのは正直厳しい状況です。やっていない事業所に声をかけて研修を受けていただいたりしているが、実際には無理だということで、プランの作成にいたっていない方が何件かいる状況です。このような状況で事業所数を増やすのは厳しいところです。現在の事業所さんの中で育てていくというのがひとつの方策だと思っています。積極的ではないように感じられてしまうかもしれませんが、現状を受けての数字です。

昨年、ケアマネージャーと計画相談の交流会があり、介護保険のプランナーから計画相談の勉強がしたいというニーズが 2～3 あがってきています。高齢者福祉分野のケアマネージャーの中で興味ある人がいれば、声をかけていきたいが、この計画の中には反映しづらく、このような数値となっています。

委員：事業所を増やすのは難しいということですが、市の予算の配分ということになるので、相談支援が足りないということを強調したかったところです。他の事業所が難しければ「かざぐるま」で専任を増やすことで、予算をつけていただければと思います。

③ パブリックコメントについて（事務局より説明）

事務局：計画等の策定において、計画の素案を広く公表し多様な市民の意見を広く集め、その意見に考慮して手続きを行うのがパブリックコメントです。

具体的な方法としては、実施時期が令和 3 年 1 月 4 日(月)から 1 か月間公表し、ご意見を募集する予定となっています。

閲覧方法は、本庁の福祉課、各地域の総合支所の窓口を設置するとともに、北杜市の HP から閲覧できるようにします。

意見を提出できる人は、北杜市民だけでなく、北杜市内の企業や学校に通っている方、北杜市内に事業所や事務所を有する個人およびその他団体が対象となります。

意見の提出方法は、様式等は問わず、窓口や郵送、FAX、電子メールでお寄せいただくこととなります。

■ 質疑応答・意見

なし

④ その他

事務局：次回の委員会は2月下旬ごろを予定しています。よろしくお願いいたします。

4 閉会

以上